

# 記入例

様式第1号（第11条関係）

## 暴力団等の排除に関する誓約書

提出年月日を記入してください。

年 月 日

大 館 市 長 様

所 在 地 秋田県大館市御成町一丁目1-1  
商号又は名称 株式会社〇〇エンジニアリング工業  
氏 名 代表取締役 大館 太郎

押印不要です。

私は、次の事項について、いずれにも該当しないこと及び将来においても該当することはしないことを誓約いたします。

この誓約が虚偽であり又はこの誓約に反した場合には、市が行う一切の措置について異議申し立てを行いません。

- 1 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴対法」という。）第2条第2項に規定する暴力団をいう。以下同じ）又は暴力団員（暴対法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ）が経営に実質的に関与していると認められる者であること。
- 2 自己若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用していると認められるものであること。
- 3 暴力団員と認められる者であること。
- 4 暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的又は積極的に暴力団の維持又は運営に協力し、又は関与していると認められる者であること。
- 5 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有すると認められる者であること。
- 6 法人にあっては、その代表役員等、一般役員等又は使用人が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用していると認められるものであること。
- 7 法人にあっては、その代表役員等、一般役員等又は使用人のうちに3から5までのいずれかに該当する者があるものであること。